

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	岐阜市	学校名	岐阜市立三輪北小学校		
校長名	杉本 公彦	対象学年	全学年	人数	98人
活動名	みのり学習「地域を知る」	時間数	1・2年…10時間 3・4年…30時間 4・5年…60時間	継続年数	12年
題材	① 自然環境（山野・ <u>河川</u> ・動物・植物） [石田川の水生生物調査、魚とり] ② 歴史（出来事・史跡・先人） [三輪北の歴史遺産調査、寺社の見学] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習） [落語・俳句を学ぶ ] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸） [田植え、稲刈り、脱穀、さつまいも作り] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [施設の人との交流 ] ⑥ その他（学校行事） [いいいも祭り（収穫祭）]				
複数年継続するための工夫改善	「地域の人・自然・歴史に学ぶ」を合い言葉に、総合的な学習の時間を「みのり」と名付け、それぞれの学年が1年を通じて、計画的に学習を進めている。俳句については、講師を招き全校で取り組み、1年生から計画的、段階的に指導し、年5回の作品展に出品している。				

1 ねらい

自然豊かな三輪地区の特性や落語の祖と言われる「安楽策策伝」芭蕉十哲の一人「各務支考」にゆかりのある三輪北の歴史、文化財、芸能に触れ合ったり学びを深めたりすることで、地域に対する興味や関心を持たせ、地域を愛する気持ちを醸成する。

2 活動の概要

	テーマとねらい	学習活動	実際の児童の活動の様子
3年	●自然との触れ合い 地域の自然と触れ合い、進んで地域の自然を守っていくことのできる子を育てる	・どろんこ池遊び ・石田川探検 ・野菜作り（大根、にんじん）	蛍が舞うきれいな川が残り、水田でも色々な生き物が住んでいることを知り、自然を大切にしようという態度や心を養うことができた。
4年	●人との触れ合い 地域に暮らす様々な人々と触れ合う中で、相手の立場や気持ちを考えて行動できる子を育てる	・三輪北保育所の園児との交流 ・サンフレンド三輪訪問 ・高齢者との交流（光の園） ・障がいのある方との交流（第2いぶき）	年少者、知的障がい者、高齢者様々な人が地域に暮らしていることが分かり、温かい気持ちで接する態度や心を養うことができた。
5年	●環境（自然）との触れ合い 農作業を体験することで、恵まれた環境を大切にしていこうとする子を育てる	・田植え、稲刈り、脱穀 ・さつまいもづくり ・おにぎりづくり、いも汁作り	昔から伝わる農業技法を体験することで、米作りの大変さを実感として捉えるだけでなく、食料を生産する人々の苦労や工夫について学ぶことができた。
6年	●歴史・文化財との触れ合い 歴史遺産や落語や俳句を学ぶことで、地域の自慢と文化を継承できる子を育てる	・歴史遺産の見学と調査（真長寺、浄音寺、大智寺 他） ・落語（クラブ活動）	歴史的に有名な人物を輩出したり、有名な寺院が多く残るこの地域を誇りに思い、大切にしていこうという態度や心を養うことができた。
全校	●故郷の宝との触れ合い 松尾芭蕉の弟子の一人「各務支考」の功績を称え、俳句に親しむことで、故郷に対する誇りを育む	・講師を招き1年生から計画的に俳句の作り方を学ぶ。 ・各務支考の晩年の住居である獅子庵に全校で出かけ、自然に触れ合いながら、俳句を作る活動に浸る。	子どもたちの豊かな発想が広がり、思いやりの心ややわらかな感性が育っている。俳句集を作成し、地域住民に読んでいただくことで、地域全体にも俳句の楽しみが広がっている。

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・学習のまとめを公民館に掲示したり、落語を文化祭で発表したりしながら成果を地域に発信している。
- ・俳句については、俳句集を作成し、公民館に置いたり、地域に回覧したりしている。
- ・地域の高齢者や知的障がい者と積極的に関わり、「いいいも祭り」に招待して一緒に遊んだり、収穫した農作物を売って得た収益金の中から、福祉施設にプレゼントを渡したりしている。

4 活動を通しての児童生徒の変容

- ・自然や文化、歴史に触れたり、学習を進めたりする中で、三輪北のことをさらに知りたいという気持ちが芽生え、より三輪北が好きになったと答える児童が増え、地域を誇りに思う気持ちが膨らんできている。
- ・施設の人との交流では、人を思いやる温かな気持ちが、ボランティアの方には感謝の気持ちが芽生えてきており、感謝の会では、自分たちの素直な気持ちを伝えることができた。